レジリアンス・プロジェクト平成21年度研究計画（Research Plan for FY2009）

１．氏名/所属:　吉村充則／（財）リモート・センシング技術センター

２．具体的な研究課題（今年度）

1) 地域レベルのレジリアンス解明に向けた生態－社会の変化と人間活動に関するデータ統合

2) 地域レベルにおける人間活動の視覚化に関する検討

３．具体的な研究内容（今年度）

1)サイト ABC を包含する地域を対象に、生態－社会の変化を内的インパクトおよび外的インパクトの双方から捉える。具体的には、時系列収集した衛星画像・空中写真解析より把握した植生被覆・土地利用/土地被覆の変化の要因を裏付けるべく異常気象・社会的背景・生業活動の変遷等に関連する資料データを収集（by 石本・岡本・松村・宮嵜）および統合する。

2) 現地調査によって収集した村落コミュニティネットワーク情報（by 石本）や食糧援助の配分・再配分の実態資料（by 松村）の収集結果を、カルトグラム手法によって視覚化を試みる。

４．今年度末までの達成予定（上記の課題毎に，何をどの程度明らかにできるか）

1) サイト ABC とその周辺の生態－社会の変化と人間活動に関するデータの収集（with 石本・岡本・松村・宮嵜・山下）・統合により、何が植生・土地利用/土地被覆変化に大きなインパクトを与えているか？あるいは、植生・土地利用/土地被覆変化がどのように人間活動にインパクトをもたらしているか？を把握する。

2)カルトグラム手法によるコミュニティネットワーク図の試作

５．今年度現地調査予定（案）

1)時期　：8月下旬～9月上旬の2週間を予定

2)目的：サイト ABC と周辺地域における植生・土地利用/土地被覆の現地調査と GPS による各種情報の収集

3)内容/準備状況：衛星画像および空中写真解析による植生・土地利用/土地被覆図と地形図の作成に取り掛かっている。

６．次年度以降の計画予定概要

（平成22年度）

1)今年度の結果に応じ、生態－社会の変化および人間活動への内的インパクトおよび外的インパクト要因となる情報の収集・統合

2)カルトグラムによるコミュニティネットワーク図・食糧援助配分の実態図・人口密度分布図の作成

（平成22年度）

現時点では未定

７．成果発表計画

発表予定学術誌（学術誌名）

発表予定学会（学会名・時期）

ワークショップ等

８．その他（何かあれば）